

井ぶり登場!

春の行楽シーズン真っ只中の食堂からは、大人気の井ぶり物をどどーん!と3つご紹介! どれもお味噌汁付きが嬉しいセットになっていますので、ぜひご賞味ください!



2 うな玉丼(刻みうなぎ使用)

ふっくら炊き上げたウナギは、そのままかき込んでよし、混ぜ込んでから食べてもよし! です。甘いイタレが絡み、ごはんが進みます。

お味噌汁付!
800円



1 にこ玉カツ丼(熟成三元豚ロースカツ使用)

もはや定番ともなった「にこ玉カツ丼」。中央に鎮座する卵の黄身を途中で割り、味変を楽しむのがオススメです。

お味噌汁付!
800円



3 海鮮かきあげ丼(エビ・イカ入り)

かきあげうどんのファンから「待てました!」という声が聞こえてきそうな「海鮮かきあげ丼」。サクサク感がずっと続き、ボリューム満点なのにどんどん箸が進んでしまいます。

お味噌汁付!
800円

ふれあいショップでは軽食も登場!



ゴルゴンゾーラとりんごのピッツァ

ローマ風の角型クラストにゴルゴンゾーラチーズとりんごのブリザードをトッピング。プラス80円(税込)で国産はちみつ(スティックタイプ)をかけて、おいしさアップ! もお試しください。ペパロニ・ブロッコリー・ブラックオリーブ等をトッピングした「ミックスピッツァ」もありますよ!

各400円



ホットサンド~ハム&チーズ~

ハム&チーズの間違いないおいしさ! ワンハンドで食べやすい! ちょうどよいサイズです。こちらどうぞ!

350円



※使用食材の入荷の関係で、価格が変更となる場合があります。ご了承ください。



ZOOっと平川



特集1

オランウータンの「ひな」がやってきた!

特集2

干支特集「干支と伝説に注目!」

特集1

オランウータンの

「ひな」がやってきた!

2023年10月24日に東京都多摩動物公園からブリーディングローン(繁殖のための貸し借り)でボルネオオランウータンのメス「ひな」がやってきました。

寝室の様子

「ひな」を迎える準備として寝室に消防ホースを張って、エサを入れるフィーダーを設置できるようにし、監視カメラやハンモックの設置なども行いました。

これらは「アマゾンほしい物リスト」により皆様からご支援をいただいた品物を活用しています。

アマゾンほしい物リストからの支援品

「ひな」はココ

羽田空港で飛行機に積み込む様子

平川へ到着後、獣舎へ搬入の様子

「ひな」は2010年3月1日に釧路市動物園で生まれ人工哺育で育ち、2020年10月からは、オランウータンの社会性を学ぶため、東京都多摩動物公園で暮らしてきました。

今回は、多摩動物公園からの引っ越しと一般公開までの様子をお伝えします。



輸送箱から寝室へ移ったときの様子

約8時間の長旅でしたが疲れも見せず、スムーズに新しい部屋に移動してくれました。
採食も確認され、無事に移動が終わり私たち飼育員のホットとする瞬間です。



麻袋をかぶり塞ぎ込んでいる様子

ところが次の日、「ひな」の様子を確認すると・・・呼びかけてもまったく動きません。一瞬、最悪の事態が頭をよぎりました。

何度か呼びかけるとようやく顔を見せてくれましたが、採食や私たちが掃除するときは麻袋を被り、塞ぎ込む様子が1週間ほど続きました。

とても繊細な性格と聞いていたので、少しずつ慣れてもらうために、静かな飼育環境となるよう配慮しました。すると、1週間が過ぎた頃から急に活発になり、サトウキビやバナナの葉など、とてもおいしそうに食べてくれるようになりました。

また好奇心旺盛で、当園に以前からいるオスの「ボビー」とは違う様々な姿が観察されました。



サトウキビ・バナナの葉を食べる様子



展示練習



一般公開初日



展示練習も少しずつ焦らずに「ひな」の様子を確認しながら行いました。

そして12月13日、一般公開が始まりました。活発に動きフィーダーからエサを取り出したり、ハンモックで休息したり、様々な姿を観察することができています。

しばらくは屋内展示場で公開の予定ですが、今後は屋外展示場へ出る練習や、「ボビー」とのお見合い・同居の練習も行っていくしますので、2頭の様子にも注目してみてください。



ボビー(オス)



ひな(メス)

オランウータン舎へお越しの際は、オスとメスの顔立ちや体格の違いなどじっくり観察していただくと嬉しいです。

担当:小村

干支の動物特別企画 「干支と伝説に注目！」



2024年の干支は「辰(タツ)」。実は数年前から、「辰年ってどうするの?」という声が少しずつ挙がっていたのですが、とうとうやってきてしまいました…。
 そう!タツは干支で唯一、実在しない伝説の動物。辰年に焦点を当てる動物がいらないのです。
 そこで、今回の干支の動物企画では…

- 干支について知ろう!
- タツってどんな動物?
- みんな大好き! 伝説の動物
- 干支の交代式

この4つに注目してご紹介します。

干支について知ろう!

年末から年始にかけて当たり前のように使っている「干支」という言葉。なぜ「干支」というのでしょうか?そして、なぜ「動物」なのでしょう?

【十二支と干支は同じ??】

「十干」という言葉は聞いたことがありますか?これは、年や月、時間、そして方角を表す10個の漢字のことを指します。では、よく聞きなれた「十二支」とは?これも、やはり年や月、時間、方角を表す12個の漢字のことを指します。

十干の10個の漢字と、十二支の12個の漢字を組み合わせ、より細かい年月や時間、そして方角を表すことができるのです。この組み合わせのことを、十干の「干」と、十二支の「支」の文字を取って「干支」といいます。「十二支」と「干支」は同じではなかったのです。※この特集では、タイトルは馴染みのある「干支」としていますが、この後は文章中では「十二支」とさせていただきます。

【十干】の10の漢字と読み

成績表を思い出してドキッとする年代の方もいるのでは?5、4、3、やA、B、C…のように、記号として使われていました。

甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
こう	おつ	へい	てい	ぼ	き	こう	しん	じん	き

2024年

【十二支】の12の漢字と読み

子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
ね	うし	とら	う	たつ	み	うま	ひつじ	さる	とり	いぬ	い

2024年

こちらはお馴染みの動物。しかし、動物は後から当てはめられたといわれています。さらに、十二支は日本だけでなくアジアを中心に他の国にもあります。その国と人々の暮らしに馴染みのある動物になっています。

例えば…ウシの代わりに水牛、ウサギの代わりにネコ、イノシシの代わりにブタ、などです。

2023年の十二支は「卯」でした。2024年は「辰」、2025年は「巳」…。これと同様、十干も決まっています。2023年の十干は「癸」でした。2024年は「甲」、2025年は「乙」…。これらを組み合わせると、2023年の「干支」は「癸卯」、2024年は「甲辰」、2025年は「乙巳」…となります。「甲」は十干の最初であることから、「物事の始まり」という意味があり、そして辰は権力の象徴ともいわれます。2024年は、物事の発展を願って何かを始めるには適した一年になるかもしれませんね。

余談

十干は10年で一巡、十二支は12年で一巡しますが、干支は一巡するのに60年です。昔は自分の干支が一巡するまで健康でいるのは大変なことだったので、60歳になる「還暦(暦が一巡して還ってくる)」を現在もお祝いのするのです。



タツってどんな動物？

「タツ」は童話によく登場するため、伝説とはいえ何となく姿形をイメージすることはできるのではないのでしょうか。鳳凰や麒麟、霊亀と共に中国の「四種の霊獣」の一つとされ、縁起の良い架空の動物です。長い体に手足には鋭い爪、頭にはモジャモジャの毛…。次のように様々な動物が組み合わさった霊獣、と言い表されることもあります。

・ラクダのような頭・ウサギのような目・猛獣のような顔・シカのような角・ウシのような耳・ワシのような爪・ヘビのような体



さらに、様々な願いを叶える「宝珠」という珠を持っています。それぞれの動物の特徴ともいえる体の部分を集めたようなタツ。恐ろしいイメージがありますが、縁起のよい出来事の前に現れるといわれています。

みんな大好き!? 伝説の動物



伝説の動物はタツだけではありません。ヨーロッパ代表は、ユニコーン。子ども服によく描かれていることがあり、その人気の高さを伺うことができます。翼の生えた体に額から出る一本の角。実は「悪」と「乙女」両方のイメージを持ち、時に猙獰な様子も描かれることもあります。

日本代表は河童! 各地で河童が登場する民話が言い伝えられています。川に水浴びをしに来た馬をひきずり下ろそうとしたが失敗、馬主に捕まってしまいます。河童は命と引き換えに薬の作り方を馬主に教えた、というのは有名な伝説ではないでしょうか。

平川動物公園では、夢を食べる伝説の動物として名高い「バク」の仲間、ブラジルバクを飼育しています。バクの仲間は飼育員がブラシで体をこすってあげると、気持ちよくなって寝転がってしまいます。その姿は、夢を食べるところか自分が夢の中にいるかのよう…。この様子は、毎月日替わりで行っている「飼育員いちおし!」で「ブラジルバクの夢心地タイム」として紹介することもありますので、要チェック! ちなみに、バクが食べるのは「悪い夢」。皆さんの初夢は決して食べませんので、どうぞご安心を。

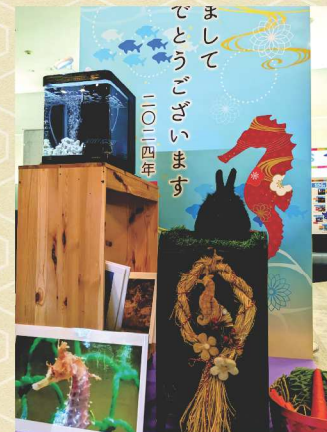


平川動物公園 × かがしま水族館「干支の交代式」

今回で11回目とすっかり恒例となった「干支の交代式」。これまで動物が登場したり飼育員が扮装?したりしてきましたが、今年のはかがしま水族館の皆様にご協力いただき、コラボ開催が実現! 水族館と動物園の両方で、タツノオトシゴやウサギについて紹介することができました。

【干支を引き受けてほしい! とお願いに行くが…】

クリスマス気分も過ぎた年末、12月26日のかがしま水族館。動物園にはいない「タツ」が水族館にいと聞きつけて、ウサギは干支を引き受けてくれないかお願いに行きました。現れたのはタツノオトシゴの、その名も「タツツー」。水槽の中からタツノオトシゴとタカクラタツも見守る中、2023年の振り返りやタツノオトシゴクイズを行いました。仲も深まり、干支を引き受けてくれると思ったのですが、まさかの「保留」。一晩考え、翌日動物園で回答する、とのことでした。しかし、一年を労ってウサギの大好物である野菜のかご盛りを贈呈され、その日は和やかに終わりました。



【2024年、タツの抱負宣言出るか!?】

そして運命の12月27日。動物園にタツノオトシゴ、タカクラタツ、そしてタツツーがやって来ました。一度は「荷が重い…」と断ったタツツーでしたが、ウサギや来園者の皆さんがタツノオトシゴクイズに全問正解! その熱意に圧倒?されたのか、無事に干支を引き受けてくれることになりました。しかもスマートフォンに2024年の抱負をメモしてくるという用意周到さ。引継書も受け取ってもらうことができ、スタッフ一同ほっと胸を撫でおろし、動物園は2023年の開園を締めくくることができました。



2024年タツの抱負

タツが雲と共に天高く舞うように、何事も上を目指してチャレンジし、目標をタツ成したいと思います。

2024年、鹿児島は私が背負ってターーーツ!!!

皆さんのどんな小さな目標もタツ成できるよう、応援しています!

担当:落合(祐)



卯年(ウサギどし)から辰年(タツどし)へ
2024年の鹿児島は、私が背負ってターーーツ!!!

かがしま水族館
2024年1月1日 干支の交代式

Newface

ニューフェイス

フタユビナマケモノ「もみ」

性別: メス
生年月日: 2017年9月18日
分類: 貧歯目(有毛目) フタユビナマケモノ科
分布: 南アメリカ北部
食性: 木の葉や果物など



手前: もみ
奥: ナマケン



エサを見ると
ソワソワ
動き始めます

よろしくね!

2023年10月2日、埼玉県子ども動物自然公園からやってきました! プリーディングローン(繁殖のための貸し借り)を利用し、当園にいるナマケン(オス)の繁殖相手としての来園です。

まったりマイペースのナマケンに比べて、やや臆病ですが日中でも動いていることのあるもみ。ナマケモノは夜行性のため日中動く姿はなかなか見られませんが、運がよいとエサを食べている姿が見られるかも!

ナマケモノ展示場でまったりしているナマケモノたちに、ぜひ会いに来てください!

(担当: 加藤)

いたっおじゃんせ

いたっおじゃんせ: 鹿児島県で「いってらっしゃいませ」の意味

平川動物公園から巣立っていった
動物たちの現在の様子を紹介します。

シンリンオオカミのゼン(オス)



富山市ファミリーパークでのゼン(写真提供: 富山市ファミリーパーク)

シンリンオオカミのゼンが2023年10月16日に富山市ファミリーパークへ引っ越ししました。2022年4月28日に5頭で生まれ、兄妹の中で唯一のオスでした。生まれてからしばらくの間は一番体が小さく気も弱かったのですが、成長とともに徐々にオスとしての貫禄を身につけていく様子はたくさんの来園者を楽しませてくれました。ファミリーパークへ到着後、しばらくは緊張している様子でしたが、今ではしっかりエサも食べ元気に暮らしています。今後、オスとして立派なオオカミになって欲しいと願っています。

(担当: 松元)

あかちゃん紹介

むぜもんじゃ

むぜもんじゃ: 鹿児島県でかわいいねの意味

コアラ(アサヒ)

父親: アーチャー
母親: ヒマワリ
性別: オス
生年月日: 2022年12月9日



アーチャーとヒマワリの頭文字を取って、「朝日」のように明るく元気に成長してほしいという願いを込めて付けられました。性格はわんぱくで好奇心旺盛です。

こんな動物

分類: 有袋目コアラ科
分布: オーストラリア東部
食性: ユーカリの葉



袋から出てきました

【2023年6月22日】

全身が育児のう(ポケット)から出ている様子を観察できました。その後はポケットの外にでている時間が少しずつ増えてきました。

体重測定

【7月中旬】

体重測定の様子です。落ち着いてもらうため、ぬいぐるみに抱っこしてもらいます。

こんなに大きく!

【12月の様子】

ユーカリをよく食べ元気に成長しています!



飼育係から

たくさんのご応募ありがとうございました。皆様さまのご協力のおかげで素敵な名前を付けることができました。母親のヒマワリに顔がそっくりなコアラで、これからどのように育つか楽しみです。ぜひ会いに来てください。

(担当: 村上)

ニホンツキノワグマは胸に三日月^{もよう}模様の白い毛が生えているのが特徴だよ！日本の本州と四国に住んでいるんだ。野生では植物の芽や実、ドングリ、昆虫などを食べているんだけど、動物園ではリンゴ、煮イモ、ニンジン、ミカン、小松菜、ピーマンなどをあげているよ！



ニホンツキノワグマはとっても手先が器用！木登りが得意だし、ミカンの皮を綺麗に剥いたりてきるんだ！ 平川動物公園にはアイ(メス)とイツキ(オス)がいるから、ぜひ会いに来てね！ (担当:坂野)

大好物の煮イモをがっしりつかんで離さない様子。
すごいパワーだよ！



その際、スタッフの安全を確保するために活躍するのがハーネス。観覧車やチェーンタワーなど高い場所の乗り物を点検するときに装着する、まさにスタッフの命綱です。

高いところは少々怖いですが、今後も安全第一を念頭にハーネスと共に活躍して参ります。

食堂
&
売店

ぬいぐるみに新商品も続々!おみやげ売店紹介

オランウータンの「ひな」にフタユビナマケモノの「もみ」、コアラの「アサヒ」など、多くの動物たちが仲間入りした様子をお伝えしてきたZOOっと平川39号。アフリカの草原ゾーン近くにある「おみやげ売店」をのぞいてみると、これらの動物たちをモチーフにしたぬいぐるみがたくさん！「ぬい撮り」に最適なサイズ感のぬいぐるみもありますので、お気に入りのコを見つけてください。

ナマケモノといえば、木につかまりぶら下がっているイメージがあると思いますが、お座りバージョンやキーホルダーもあります。当園で飼育しているナマケモノは鉤爪が2つの「フタユビナマケモノ」。鉤爪が3つで、目の周りにパッチが入っているのは「ミツユビナマケモノ」で現在日本の動物園では飼育されていません。部屋にぶら下げてみたり、週に一度! ?といわれている貴重な排泄シーンを再現してみたいはいかがでしょうか?



すっかりお馴染みになったエア
くじの他にも、たくさんぬいぐる
み!さすがコアラです。今回のおす
めは、顔や、少し前かがみの体勢がリア
ルに再現されたコチラ。
まるで横木を移動しているかのようです。



すっかり大人のオランウータンに成長した「ポピー」とは対照的に、まだまだあどけない様子が残る「ひな」。今回ご紹介するめいぐるみたちは、どれも「ひな」を彷彿^{ほうふつ}とさせます。ひなの来園記念にぜひどうぞ！

